

ほけんだより



令和2年12月14日
京ヶ瀬小学校保健室 No.12
おうちの方といっしょに
読みましょう

感染性胃腸炎に注意！

今月に入り、腹痛や吐き気で欠席する人が増えてきました。感染性胃腸炎は、11～2月の時期に最も多く発生する感染症で、感染力が強く、周囲に罹患した人がいる場合には、感染が広がらないように注意する必要があります。「感染性胃腸炎」と診断を受けたら、感染拡大防止のため、嘔吐や下痢症状が治まり、通常の食事がとれるようになるまで静養してください。

<どんな症状？>

突然始まる嘔吐、下痢が主な症状。発熱することもある。



<感染経路は？>

ウイルスに感染した人の嘔吐物や便などを通して、人から人へ感染することがあります。また、生の貝を十分に火を通さずに食べたり、食品調理の過程でウイルスに汚染された料理を食べたりすることで感染することがあります。

<予防方法は？>



手洗いをする



嘔吐物には近付かない



ハンカチの貸し借りは
しない

家庭でできる嘔吐物の処理方法

- ①換気のために、窓を開ける。
- ②手袋とマスクを着ける。
- ③嘔吐物は乾燥する前に、外側から内側に向けて、静かに拭き取り、ビニール袋に入れる。
- ④嘔吐物が付着していた床面などは、周囲を含めてやや広めに、50倍希釈のハイターを染みこませたペーパータオルで拭く。
- ⑤ペーパータオルもすぐにビニール袋に入れ、封をする。
- ⑥手袋を外して、嘔吐物が入っている袋と手袋をもう一つのビニール袋に入れる。ビニール袋は、封をして処分する。
- ⑦最後に、石けんでよく手を洗う。



<塩素剤 50倍の目安>
500mLのペットボトルに、
キャップ2杯の塩素剤を
入れる。

感染性胃腸炎は出席停止となります。病院で診断を受けたら、必ず学校に連絡をお願いします。(急性胃腸炎は出席停止になりません。)